

八重山地域は喫煙率が高い!?

八重山保健所健康推進班保健師 久場 香代子

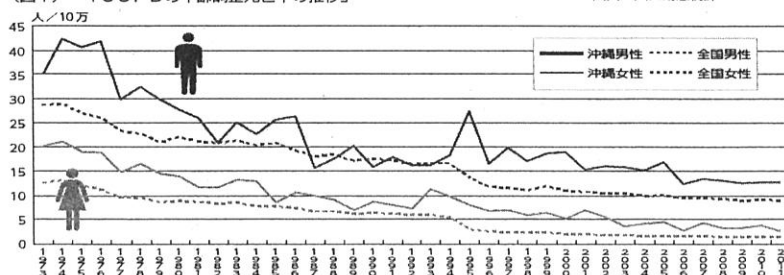
★COPD死亡率は沖縄県がワースト1位

図1のグラフは、タバコの喫煙が主な原因であるCOPD（慢性閉塞性呼吸器疾患）の全国と沖縄県の年齢調整死亡率の推移を示したグラフです。このグラフを見ると沖縄県、全国とも減少傾向にはありますが、沖縄県は男女ともCOPDによる死亡率が、全国より高いことが分かります。実は、沖縄県はCOPDによる死亡が男女とも全国ワースト1位（平成22年都道府県別男女別年齢調整死亡率）でした。沖縄県においては、COPD死亡率を減少させる取り組み（禁煙対策）が課題の一つであると言えます。



(図1) 「COPDの年齢調整死亡率の推移」

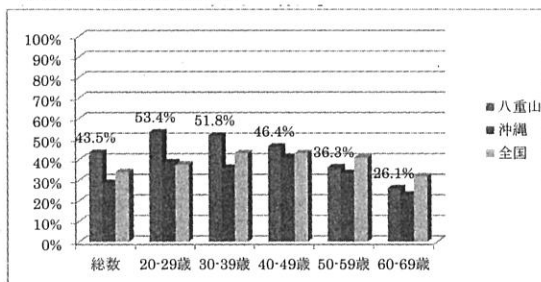
出典：人口動態統計



★八重山地域の喫煙率は沖縄県、全国よりも高い!?

図2、3のグラフは八重山地域、沖縄県、全国の喫煙率を比較したグラフです。このグラフを見ると、八重山地域喫煙率は男性、女性とも沖縄県、全国よりも高くなっています。

(図2) 「喫煙状況 (男性)」

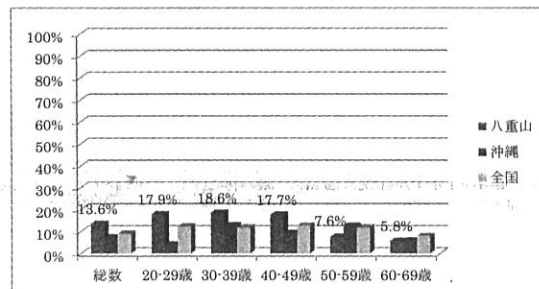


出典：【八重山】飲酒と健康に関するアンケート調査(H26)、【沖縄】県民健康・栄養調査(H23)、【全国】国民健康・栄養調査(H24)

タバコはCOPD以外にも肺がん、脳卒中、胃潰瘍、心臓病、歯周病などさまざまな病気を引き起こす原因となります。

八重山地域の健康のために喫煙率を下げる対策も他の健康課題（肥満や飲酒対策）と併せて力を入れなければならない取り組みであることが分かります。

(図3) 「喫煙状況 (女性)」



★喫煙者は禁煙を。禁煙のメリットは何歳で始めても病気のリスクが確実に低くなること。

禁煙することでがん死亡のリスクは確実に下がります。また、禁煙を始める年齢に遅すぎることなく、60歳代で禁煙しても、肺がんなどの死亡リスクが下がることが分かっています。

適切な禁煙治療によって禁煙の成功率を最大3倍にすることができます。

八重山地域では12カ所の医療機関で禁煙外来を設けています。喫煙者で禁煙治療に関心のある方はぜひ一度ご相談されることをお勧めします。

★受動喫煙を防ぐため、各事業所は施設、敷地内禁煙の取り組みをぜひご検討下さい。

喫煙者が吸う主流煙よりも、火のついた部分から立ちのぼる副流煙に多くの有害物質が含まれています。他人のたばこの煙を吸わされることを「受動喫煙」と言います。健康増進法第25条では「学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店その他の多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とあります。

県では、受動喫煙防止対策に取り組んでいる施設を応援する制度として「沖縄県禁煙施設認定推進制度」があり、認定を受けると認定書（ステッカー）の交付と、ホームページで施設名などを公表し、多くの人に情報提供する取り組みを行っています。八重山管内における認定施設数は年々増加し、212カ所（2015.4.3現在）が登録されています。

昨年、八重山保健所では飲食店利用者2,250人をを対象に「店内禁煙」について調査を実施しました。61%の方が「禁煙を希望する」、25%の方が「どちらでもよい」との回答がありました。飲食店を営んでいる方は、店内禁煙を検討する際のご参考にさせていただければと思います。

★八重山福祉保健所ホームページでは、「禁煙外来実施医療機関」一覧の掲載と「沖縄県禁煙施設認定推進制度」の申請方法を掲載しています。禁煙外来に関心のある方、また受動喫煙防止対策に関心のある事業所は、ぜひ一度ご覧ください。

八重山毎日新聞

平成27年8月23日(日)